

2015年のクリスマスもYMCAで! クリスマスの喜びをYMCAでいっしょに分ち合いましょ!



【東京韓国YMCA】

1. YMCA 子どもクリスマス

日時: 12月12日(土) 14時
会場: YMCA 9階国際ホール
内容: クリスマスの歌、ゲーム、工作、サンタさんも来るかな?

参加費: 700円(きょうだい参加は二人目から500円)



2. 2015年YMCA クリスマスの夕べ

日時: 12月13日(日) 17時
会場: YMCA 地下スペースY
内容: 梁昌熙牧師(山梨中央教会)による



メッセージ、クリスマス祝賀共演フェスティバル ~山梨中央教会 / 東京オアシス教会 / 八街グレイス教会 / 東京希望キリスト教会 / 谷中キリスト教会 他~ (順不同)、特別賛美
参加費: 無料

【関西韓国YMCA】

関西韓国 YMCA 会員クリスマス
日時: 12月12日(土) 18時30分
メッセージ: 梁榮友牧師



2015年11月までのその他の活動

関東大震災追悼合同早天礼拝



毎年、9月1日の早朝、在日本韓国YMCAでは、東京YMCA 早天祈禱会と東京聖市化運動本部朝餐祈禱会と共同で、関東大震災追悼合同早天礼拝を開催しています。今年も、韓日のキリスト者が共に集い、92年前の悲劇を再び心に刻むために、礼拝が捧げられました。鄭守煥牧師(在日大韓基督教豊橋教会)より「灯(ともしび)をともし続けよ」と題したメッセージをうかがい、私たちが他者の痛みと共に鳴る心を持ち続け、心のともしび(マタイ6:22)をともし続けられるようにと、祈りを合わせました。

Adobe Illustrator

グローバルフェスタにユースが参加



10月3日(土)~4日(日)、お台場のセンタープロムナードで開催された日本最大級の国際協力イベント、グローバルフェスタJAPAN 2015に、日本YMCA 同盟がブースを出展しましたが、私たちが在日本韓国YMCAも、関東地方の各都市YMCA、学生YMCAと共同でそこに参加しました。ユースボランティアの堀真悟さんが、パレスチナの東エルサレムYMCAと本会との交流活動について、ブース展示および活動報告を通して紹介してくれました。また、東エルサレムYMCAで製作されたオリブクラフトの販売も行ったところ、たいへん好評でした。

YMCA / YWCA 合同祈禱会(東京)



今年の東京でのYMCA/YWCA 合同祈禱会は11月12日(木)に東京YWCAを会場として行われました。1部の礼拝では、写真家・ジャーナリストの桃井和馬さんが、「皮膚感覚の神」と題したメッセージを語ってくださいました。2部の懇親会では、YWCAの皆さんがご用意くださった軽食をいただきながら、各団体の近況を語り合い、豊かな交わりの時間を過ごしました。

マイノリティ問題国際会議で チャング披露



11月18日(水)~21日(土)に在日本韓国YMCAを会場として第3回「マイノリティ問題と宣教」国際会議(主催:在日大韓基督教会)が開催されましたが、初日の交流会で、YMCA チャング教室木曜クラスの皆さん(指導: 仁仁子先生)がソルチャンクの演奏を披露しました。息の合った迫力ある演奏に、海外からのゲストの皆さんもたいへん興奮していらっしゃいました。

今後の予定 2015年12月~2016年2月

【在日本韓国YMCA】

- 2/8(月) 2・8 独立宣言第97周年記念式(予定)
- 2/8(月) 2015年度第2回理事会(予定)

【東京韓国YMCA】

- 12/12(土) 子どもクリスマス
- 12/13(日) YMCA クリスマスの夕べ
- 1/18(月) ~ 1/30(土) 日本語学校「冬の東京体験」
- 1/18(月) 第243回教界指導者朝餐祈禱会
- 2/8(月) 2015年度第3回理事会(予定)

【関西韓国YMCA】

- 12/5(土) 第44回生野区民クリスマス(東小路小学校)
- 12/12(土) YMCA 会員クリスマス(メッセージ: 梁榮友牧師)
- 1/8(金) 第122回 教界指導者早天祈禱会
- 1/16(土) 2015年度第3回理事会
- 2/3(水) 2・8 独立宣言第97周年記念礼拝(大阪聖和教会 説教: 鄭寿天牧師)
- 2/7(日) ひらかた冬のついで(渚西中学校)

YMCA東京日本語学校 学生募集中 韓国語講座 途中入会大歓迎

【編集後記】

- 韓国ブックカフェに取材に行ったら、韓国語を勉強したくなりました… あれ、何年も前から言ってる…(才)
- もういくつ寝るとお正月。年末年始のお休みを楽しみに、年末の忙しさを乗り切りましょう!(た)
- マイナンバーが家に来ました。覚えやすそう、覚えられなさそうな12桁。(白)

KAKEHASHI かけはし 2015 Dec. vol.21

発行人: 金秀男 発行: 在日本韓国YMCA アジア青少年センター
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 2-5-5
TEL: 03-3233-0611 FAX: 03-3233-0633
http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/ ayc@ymcajapan.org



『かけはし』次号は2016年3月発行予定です。

Twitter: @zainichiymlca Facebook: Korean YMCA in Japan
より良い紙面づくりのために、ご意見・ご感想等お寄せください。

在日本韓国YMCA アジア青少年センター
Korean YMCA in Japan Asia Youth Center

かけはし

日韓の架け橋へのきっかけとなった場所

長岡 里佳 (法政大学 国際文化学部 国際文化学科 4年)

私は幼い頃の韓国旅行がきっかけで韓国文化を好きになった。現地の韓国の方々の活発で積極的な人懐っこい性格に魅了されたからだ。しかし長い間、韓国に対する憧れが募るばかりで韓国と縁遠いと感じていた中、在日本韓国YMCAの存在を知り、韓国文化教室を支える活動をするようになった。在日本韓国YMCAでは韓国の留学生や職員の方々と出会い、徐々に縁が広がるようになった。

そして一年後、夢の韓国留学中に嬉しい知らせが届いた。ソウルYMCAで日本語教室のボランティアをしてみないかという連絡だった。日本での縁が韓国に来て繋がり始めたのだ。留学中は沢山の友達を作りたいと思っていた私はすぐさま了承した。

多くの方が集まれるように日本語教室は平日の午後7時ごろに開いた。ソウルYMCAはソウルの中心部にあり交通が便利なこともあり、日本語を習いたい方々は年代問わずに多く集まった。勉強熱心な韓国の方々の熱意を感じ、とても嬉しく思った。一年前までは韓国と縁遠いと感じていた私がソウルで韓国の人々に日本語を教えたことは、私の自信に繋がった。私は韓国語を学んだことでより多くの人々と「共感できる楽しさ」を感じていると思う。勿論これは趣味がスポーツであっても、同じように味わえるだろう。それが私の場合、韓国語だったと思う。得意・不得意は問わずに、お互いの国に興味を持って集まる場所であったからこそ、楽しい時を過ごせたと思う。

その他にもソウルYMCAには日本に興味のある方々が集まる機会が多くあった。韓国の方々にYMCA日本語学校留学相談会を開いた際には、少しでも力になれるように協力した。また光州YMCAにもボランティアで訪れたのだが、その際の経験は一生忘れないだろう。



ソウルYMCAの日本語教室の参加者たちといっしょに(左から2人目が筆者)

光州は歴史的に独立運動の跡が残る場所として有名であり、韓国国内でもマイノリティの土地柄が伺える地域だ。在日本韓国YMCAと重なる歴史を感じ、今後も在日本韓国YMCAに足を運び、大切にしたい場所だと再確認した。

今や韓国語の学習環境は整っており、韓国語は日本人にとって学びやすい言葉として知られているが、韓流ブームが起きるまではその様なことはあまり知られていなく、関心を持たれていなかった。現在韓国語を学ぶ環境があることや、「共感できる楽しさ」を味わえることは在日本韓国YMCAの方々の努力があったからだろう。

聖書に聴く

第21回 金迅野 牧師(キム・シンヤ/在日大韓基督教会 横須賀教会牧師)

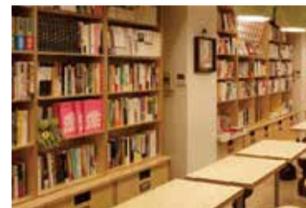
ヨハネによる福音書7:28-31

待降節に入り、わたしたちは、救い主イエス・キリストの聖誕を待つ時間を過ごしています。街にもイルミネーションが点灯されて、「クリスマス」という言葉が巷に氾濫します。しかし、わたしたちはどれだけ「救い主」(メシア)のことを知っているのでしょうか。あるいは、わたしたちが思い描く「救い」のイメージはどのようなものなのでしょうか。それは主の語られる「救い」と同じでしょうか。ヨハネによる福音書の7章25節から27節には、イエスがメシアであることを疑う人々の姿が描かれています(6章42節にも出ています)。彼らはイエスの「出自」を「知って」いました。自分たちがその出自を知っている人物がメシアであるはずがない。メシアがどこから来るか、人は知るはずがないから。もっともな意見のようですが、イエスは、人々の、その「知っている」という心の有り様を問います。人々が「目に見える」出自(家族)に着目したのに対して、イエ

スは、「わたしをお遣わしになった方」と語り、この世への派遣の根源を眼差すように促します。この眼差しの大きな断絶が、人々がイエスを殺害する動機になりました。ところで、救い主を「待つ」わたしたちは、どのような「救い」を待っているのでしょうか。主の「救い」とわたしたちが思い描くそれとの間に大きな断絶はないでしょうか。メシアの到来としてのクリスマスは、最も深い闇の中に顕れた強烈な一筋の光でした。故郷から引きはがされた存在、痛みを分かち合える存在を見いだせない言ひしれぬ孤独の中にある存在、暴力にさらされながら居場所を失って牧者のいない羊の群れのようにあてどなくさまよう存在…。聖書が語る救いは、そしてクリスマスは、そのような存在のもとに救いをもたらされたことを語っているのではなかったのでしょうか。クリスマスを待つこの時間のなかで、わたしたちは、いま一度、静かに、自らが思い描く「救い」がどのようなものであるのか、省みるべきではないでしょうか。

連載 東京の中の韓国を巡る
【第12回～CHEKCCORI～韓国の本とちょっとしたカフェ～】

才門勇介(「かけはし」編集委員)



韓国関連の書籍を集めたブックカフェが神保町にあると聞き、行ってみました。

1Fのお蕎麦屋さんの脇の階段を上りエレベーターで3Fへ。とてもかわいいスペースに韓国文学をはじめとする韓国関連の書籍がずらりです。そもそも、探してもなかなか出会えないのが韓国関連の書籍、そもそも情報がない。韓国文学はともおもしろいとは聞きますが、日本ではあまり出版されません。そんな状況の中で、強固な文学性と大衆性を兼ね備えた韓国文学を日本に紹介したい!とCUONという出版社ができました。

そのCUONが事務所の移転を兼ねて、オープンしたのが事務所兼ブックカフェ「チェッコリ (CHEKCCORI)」だそうです。

もちろん、カフェですから、早速コーヒーを…と思うと他にもなかなか魅力的なメニューが。まずは韓国茶、ゆず茶、五味子茶、スジョンガが用意されています。そして私的に嬉しかったのは、韓国餅! しかも3種類の用意がありました。せっかくなので3種類(笑)、そしてゆず茶を。その他、マッコリ!や韓国ビールも用意されています。

注文して、待ちながら本を物色します。こういう時にとってもどかしいのですが、私は韓国語が読めません…。安心して下さい、CUONが翻訳出版している韓国文学ももちろん取り揃えられています。韓国語の小説や詩、エッセイ、児童書、漫画、美容健康などの実用書など約3000冊に加え、韓国語学習書、日本語の韓国関連本約500冊を取り揃えているそうです。しかも買うこともできます。

20時まで営業しているので、会社帰りにマッコリ片手に韓国文学、なんてオシャレかもしれません(私はお酒が飲めませんが…)。カフェとして見ても、とてもくつろげる、いい空間です。

「チェッコリ」とは学校で教科書が一冊終わると先生と一緒に勉強してきた仲間と祝うパーティーのことをいうそうです。そんな由来もあり、たくさんのイベントも開催されています。また「CHEKCCORI LIVE」と称して韓国や日本の作家さんを招いたトークショー等も定期的に開催しているようなので、そこで韓国文学と出会い、交流し、仲間が出来る、そんな絵も想像できます。是非一度ホームページを覗いてチェックしてみてください。何か、気になるイベントや、好きになる本に出会える場です。「韓国と本でつながる」、そこから日韓交流の拠点としての輪の広がりが期待されます。

CHEKCCORI
 韓国の本とちょっとしたカフェ
<http://www.chekccori.tokyo/>
 営業時間: 12:00 ~ 20:00
 定休日: 日曜・月曜

日本語学校 ボランティア、ホームステイ受入ホストファミリー募集

今年の冬も、台湾、香港、韓国から、日本語短期研修生が来日します。滞在中、研修生との日本語会話や都内見学に協力して下さるボランティアと、1泊2日のホームステイを受け入れて下さるホストファミリーを、それぞれ募集しています。楽しく、有意義な国際交流の経験をしていただけるチャンスです。ぜひ多くの皆様のご協力をお願い申し上げます。

1. 日本語会話ボランティア

日時: 2016年1月20日(水) 14時~16時
 場所: YMCA 3階教室
 ※グループに分かれて、研修生たちと日本語で会話をさせていただきます。

2. 都内見学同行ボランティア

日時: 2016年1月27日(水) 14時~17時
 場所: YMCAに集合し、都内見学(丸の内周辺を予定)、現地解散。
 ※日本語で会話をしながら、都内見学に同行いただきます(電車で移動)。ボランティアの方には、交通費として一人1,000円お支払いします。

3. 1泊ホームステイホストファミリー

日程: 2016年1月23日(土)~24日(日)(1泊2日)
 開始: 1月23日(土)午後1時までにYMCAでピックアップ
 終了: 1月24日(日)午後5時までにYMCAに帰館
 ※宿泊場所と、23日夕食、24日朝食をご提供願います(滞在費として、研修生1名につき、3,000円をお支払いします)。



お問合せ、お申込は、日本語学校までどうぞ (ayc@ymcajapan.org TEL 03-3233-0615)

2015年9月~11月のプログラム

東京韓国YMCA
 関西韓国YMCA

東京韓国YMCAの活動

Y・ワイ(わい)フェスティバル2015 ~YMCAバザー~ 今年も大盛況!



民族料理屋台や掘り出し市などによって賑わう、毎年恒例のY・ワイ(わい)フェスティバル ~YMCAバザー~ が、今年も11月14日(土)に開催されました。

YMCA東京日本語学校学生たちによる屋台では、スリランカ、ベトナム、韓国、中国、台湾、香港、マカオ等の各民族料理が披露され、普段口にできる機会が少ない、珍しい食事を大いに楽しむことができました。

大好評の掘り出し市は、やはり今年も盛況で、開店前から玄関先で並んでいたお客様が、開店と同時に売場に駆け出し出ていく姿が見られました。

韓国物産市は、韓流ブームによって一般の商店でも普段から韓国食品を買うことができるようになったこともあり、かつてのような異常なほどの人気ではなくなったものの、それでも多くの方々が集まってくれました。皆さん、よくご存知の韓国食品を、慣れた様子でたくさん購入していらっしゃいました。

韓国伝統楽器教室受講生によるカヤガム演奏、留学生たちによる日本語の歌の披露、子どもと大人がいっしょに楽しむゲーム大会なども、バ

ザーを盛り上げるお楽しみとしてすっかり定着し、今年もたいへん好評でした。

東日本大震災被災地支援として毎年設けている宮古物産コーナーにも、大勢のお客様が足を止めてくださいました。今年もこの売上によって、わずかですが震災被災地に献金できることをうれしく思います。

毎年11月に開催されている本会のバザーですが、今年は、残念ながら雨の中の開催となってしまいました。それでも、多文化共生を目指す諸団体の活動や、日本語学校で学ぶ留学生を支援するというバザーの趣旨に共感して下さった会員、ワイズメン、日本語学校学生、そして近隣の住民の皆様のご協力によって、今年もたくさんの収益を得ることができました。この場を借りて、ご協力くださった皆様にあらためて心からの感謝を申し上げます。

YMCA牧会者一泊協議会を開催



来年創立110周年を迎える在日韓国YMCAは、現存する最初の在日韓国教会を生み出し、苦難の時代から今日まで教会と共に、世の光、地の塩としての役割を果たしてきました。不安と混迷の中にある現代社会において、教会の一致と協力を進めつつYMCAの働きを共に考え語る場として、『YMCA牧会者一泊協議会(兼・第2回教会協力委員会)』が、昨年に続き今年も11月9日(月)~10日(火)、熱海伊豆山で開催されました。

当日はYMCA朝餐祈禱会を終えた後、参加者14名が2台の車に分乗し、各自遅めの昼食をとり山腹に位置する眺望満点のホテルに到着しました。開会礼拝と翌朝の早天礼拝では力強いメッセージに励まされ、み言葉を分かち合い、祈りと讃美で恵みに満たされました。委員会協議では真剣且つ建設的な意見交換がされ、中でも『YMCAクリスマスの夕べ』について、今までにない豊かな内容が一致して確認されたことに加え、YMCA新入会者を得る時となりました。また、急きょ特別プログラムとして、心身共に健康を保ち十分に奉仕できるようになるために、約一時間の「健康セミナー」が開講されました。たいへん好評で、次回も是非継続を期待するとの声が出るほどでした。

すばらしい施設での温泉浴と特別料理で、心身ともに癒された良き学びと交わりの機会となりました。

関西韓国YMCAの活動

YMCA/YWCA合同祈禱週集會



今年の大阪でのYMCA/YWCA合同祈禱週集會は11月12日(木)午後6時30分より関西韓国YMCAを会場として行われました。

第1部の礼拝では日本基督教団大阪聖和教会の老田信牧師に「希望は変革の中に」と題して奨励をしていただき、席上献金は第3回「マイノリティ問題と宣教」国際会議に捧げられました。

第2部では食事と歓談の後に「各Yからの贈り物」として発表が行われました。大阪YWCAからは戦後70年、平和のために戦争を語り継ぐ冊子制作についての活動報告、大阪YMCAからは国際専門学校高等課程表現・コミュニケーション学科の学生による朗読劇『かわいそうなゾウ』、そして関西韓国YMCAからは韓国語による美しいハーモニーの賛美が捧げられました。

ホールいっぱい60名の参加者があり、キムチ、チヂミ、蒸し豚、海苔巻き、餅などの韓国料理を食べながら楽しく交流し、また、祈りを合わせ平和について考える尊い時を共にすることができた有意義な集會となりました。